

2020年1月12日

## 福音書からのメッセージ

そのとき、イエスが、ガリラヤからヨルダン川のヨハネのところへ来られた。彼から洗礼を受けるためである。

(マタイによる福音書3章13節)

イエス様はガリラヤから、ヨルダン川にいる洗礼者ヨハネの元に向かいました。ご自分の方から、洗礼を受けるために歩いていかれたわけです。当時、ヨハネのところには、洗礼を受けるために多くの人たちがきていました。エルサレムとユダヤ全土から、またヨルダン川沿いの地方一帯から人々がやってきたと、聖書は報告します。

イエス様はどういう気持ちで、人々と共に並ばれ、ヨハネの元に向かわれたのでしょうか。ヨハネはイエス様がどういうお方か、分かっていたようです。でも周りの人たちにとってイエス様は特別ではなく、自分たちと同じ只の人にはしか見えなかったのではないかと思います。だから別に、「イエス様、先に行ってください」とか、「あなたが先に洗礼をお受けください」とかいう会話などなかったはずです。イエス様も広い範囲から集まってきた多くの人たちと一緒に、並ばれました。

人々はなぜ、ヨハネの元に向かったのか。それは罪を告白し、悔い改めの洗礼を受けるためでした。神さまが支配される時が、間もなくやってくる。そのときに、正しくない者は裁きを受け、滅ぼされるに違いない。その恐れの中で、人々は悔い改めようとししました。このままではダメだ。その自覚があるからこそ、彼らは悔い改めの洗礼を受けに来ます。彼らの表情はどうだったでしょう。ひどく険しいものではなかったでしょうか。深い悲しみに沈んではいなかったでしょうか。足を引きずっている人はいなかったでしょうか。



悔い改めよ、その声に反応して、自分の心の中を見つめ直したときに、洗濯し

ても、洗濯しても、まったくきれいにならない、ボロボロで真っ黒の自分に気づかされるのです。ヨハネの叫びを聞き、首をうなだれながらどうしようもなくただ歩んで行くその人々の間に、そこにイエス様もいたということです。

長い順番を待っている間、イエス様は人々の様子を見ておられたでしょう。苦しみも理解してくれたに違いありません。そしてようやく順番が来て、ヨハネとのやり取りの後、イエス様は洗礼を受けられ、水からあがられました。

イエス様が罪深い人々と同じ列に並び、その間を歩き、そして洗礼を受けられた。そのことは、神さまの心に適うことでした。そしてイエス様はその後も、苦しみや悲しみの中にある人々と共に歩まれたのです。

そしてイエス様は、わたしたち一人一人も招いておられます。わたしたちも神さまの恵みにあずかるようにと、導いてくださいます。わたしたちの痛みを良く知ってくださる方が、共にいてくださるのです。

そのことに、心から感謝したいと思いません。

### 桃山基督教会

〒612-8039

京都市伏見区御香宮門前町 184

TEL/Fax 075-611-2790

メール momoyama.kyoto@nssk.org

<教会ホームページ>

<http://momoyama.hannari.com/>